

クロスゲート新砂

建物諸元

所在 ————— 江東区
主用途 ————— 情報通信
敷地面積 ————— 8,041 m²
延床面積 ————— 約 20,000 m²
階数 ————— 地上 5 階
竣工年月 ————— 2008 年 5 月
事業者 ————— ソフトバンクテレコム
URL —————

<http://www.softbank.jp/corp/group/sbtm/>
<http://tm.softbank.jp/business/datacenter/>

トップレベル事業所に係る評価

I 一般管理事項

・エネルギー使用状況の把握、CO2削減対策案の計画・立案・実施(見える化による分析と改善)

II 建物、設備性能に関する事項

・高効率UPS・直流給電設備の導入
・高効率パッケージ型空調機の導入、全熱交換器の導入

III 運用に関する事項

・従業員・関連会社・テナント勤務者の啓発活動の実施
・テナントと協力して、空調利用時間・空調設定温度の適正運用を実施

事業所の概要

当事業所は、2008年5月に竣工。
耐災害性に優れ、地球環境に配慮した、データセンター専用事業所として開設。

都心型データセンターとして、建設当時最大規模の約20,000 m²の延床面積に加えて、拡張性の高い電源設備を導入、非常用発電機も冗長構成となっており、通信キャリア事業者のデータセンターとして、高品質、大容量のバックボーンネットワークと直結しているデータセンターである。

事業所外観写真



事業所における環境負荷低減の取組

以下の設備の導入・運用により、環境負荷低減に取り組んでおります。

- ・ 機器室に効率的なエアフローコントロールの導入
 - ・インバータ式の空調機
 - ・ラック列のコールドアイル側の一部にキャッピングを導入
- ・ 換気設備に全熱交換機を導入。一部居室には CO2 濃度自動制御空調を導入
- ・ 空調室外機のショートサーキット防止・効率向上のため、空調室外機を屋上床面から高く設置し、自然風を効果的に利用する仕組みを導入
- ・ 空調室外機及び屋上のコンクリート面に、自動散水システムを導入
- ・ 廊下や階段には赤外線センサーによる自動点灯、自動消灯の照明設備を導入